

麗江の子供達

市場からの帰り道、別な路を通ってみると学校帰りの子供たちに出くわした。



友人同士で仲良く語り合いながらの下校風景である。幾つものグループで楽しそうだ。



駄菓子屋らしい店の前で買い食いしている子供たちもいる。明るい子供たちの表情を見ているとこの地は今観光で潤っていることが伺える。上右の写真は小学校の正門である。歩いている方向からこの子たちの校舎ではないが、そんなに大きくない。校庭がどうなっているかを知りたかったが壁に囲まれているので見えなかった。

様々な麗江

歩き回っていると色々な光景に出会う。その中から面白かったものを幾つか紹介しよう。



絵馬が大量にぶら下がっているところがあった。ハートマークが付いている。どうやら恋愛の願い事らしい。若者には人気である。友人同志で記念写真を撮っていた。絵馬には必ず相合い傘のつもりなのだろうか傘がついている。中国で初めて見かけた光景だ。後からガイドに聞いてみたら、これは中国の風習にない。日本に真似てやっているのだろうと言っていた。たしかに鎌倉の神社で中国からの観光客と思われる人が絵馬に北京の有名校への合格祈願を書いたのを見たことがある。



そんな人たちが流行らしたのかもしれない。受験や恋愛はどこの若者にとっても神頼みらしい。それにしてもパワースポットはどこだろう。近くに寺院らしいものはない。すぐ裏手に麗江のシンボルともいえる先に紹介した世界遺産の碑があるし、大きな水車に並んで開放の碑らしきものがある。こんな所をパワースポットにしているのかもしれない。最も若者たちは願い事をベンチに座って書いて吊るして写真を撮るだけで祈願している風はない。

下の二枚の写真は早朝の光景である。昼から夜まで観光客で賑わいを見せた商店街も朝早くは人通り



も少なく戸締りされている。一日の始まりは板戸を外して店を開けることから始まる。木彫の飾りが着いた板戸で重そうだ。一枚ずつ外して邪魔にならない場所に積み上げていた。店によっては少し離れた路地に積む所があった。



左が世界遺産の碑がある前の広場で次々に駐車場（自分達の駐車場とは別）から団体客が繰り出してくる。ここには旅行案内所もあって、麗江観光のスタート地点にもなっている。右は朝観光バスに乗り込もうと急いでいる団体客である。圧倒的に若い人たち、しかもアジア系の人たちが多い。

ガイドが今都会の若者たちに世界遺産を訪れて、ナイトライフを楽しむのが人気になっていて、静かな古都の環境がそこなわれていると嘆いていた。

さて、ここまで来て皆さんは気付いたでしょうか。街の写真をもう一度見て下さい。電信柱が一本も無い。もちろん電線も見当たらない。インフラは全て石畳の下に埋設されているのだ。注意して石畳を観

察すると、埋設箇所の表示が小さく刻印されている。電気、ガス、電話等のマークが方々で見られた。集中管理でないからマンホールも殆ど見かけない。駐車場近くで一箇所見ただけで古街の中で見るのがなかった。以前からこうしていたのか、世界遺産に登録する際に行ったのか、地震で崩壊したあと復興したときにしたのかそれは判らないが古い時代の街並みを見る上で近代的な施設がないのはすこぶる良い。

嘉楽村 (ナシ族の村)



嘉楽村は麗江の近くにあるナシ族の村と聞いている。麗江の古街区に入る前に立ち寄った。麗江の地図にも載っていないので、どちらの方角にあって、どの位の距離か判らない。麗江の古街区が観光の街になっていつので、ナシ族の普段の姿を見たいと連れてきてもらった所だ。それにしても嘉楽村とは良い名前である。ここも世界遺産の範囲に入ったらしく、その時建てた大きな村碑が広場にあった。上の方にトンパ文字が書かれているので、ナシ族の村なのだろう。下に「苟洛暢」とあるがこれが何を表しているの

かは判らない。

ここは途中だったので、短時間の滞在でごく一部分しか見られなかったがスナップを幾つか挙げておく。鄙びた農村の雰囲気味わってほしい。



白族の家屋より地味な造りである。壁も白壁の所は少ない。初めから塗布していないか剥がれたままなのか不明だが、剥き出しの壁が多い。飾りも少ない。上左に竹があるが株立ちだった。日本で良く見る根茎で増える竹林と違う種類で南方に多い竹の種類である。



電柱や電線も地上に見えているし、
石畳以外の舗装した道路も多くなっていた。農作業に出ている人が多いのだろう。人通りは少ない。



上の四枚は村の商店街だろう。殆どが日用品の雑貨屋である。中では赤ん坊を囲んで話し込んでいる人たちもいる。右上の白いビルは超市と看板にあるからスーパーだ。最近出来たのだろう。

~~~~~

(追加)

左は麗江古街区の四方街近くにある木氏王府の入り口である。この地を治めた木氏の王宮だが、観光客の入る姿もない。往時の生活ぶりが分かるのかもしれないが時間が掛かりそうなので、こちらも遠慮しておいた。

